

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	ふじむら ゆういち	
氏名	藤村 裕一	
所属・役職	鳴門教育大学教員養成DX推進機構長・大学院学校教育研究科特命教授 文部科学省中央教育審議会デジタル学習基盤特別委員会委員 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 教授 鳴門教育大学 教員養成DX推進機構長 文部科学省 学校DX戦略アドバイザー	
活動拠点	北海道から沖縄まで全国各地で助言している。 これまで秋田県，長野県，宮崎県，札幌市，福岡市，北海道岩見沢市・深川市，滋賀県長浜市・彦根市・米原市，沖縄県西原町等の教育の情報化に携わってきた。	
略歴	1981 年 4 月 札幌市立小学校において教員となる 1999 年 4 月 札幌市教育委員会教育政策担当指導主事・情報教育担当指導主事となる。教育イントラネット，ヘルプデスク，ICT支援員を整備。 2001 年から大学院学校教育研究科准教授 2021 年から教授・教員養成DX推進機構長 2023 年から特命教授 首相官邸の教育再生実行会議初等中等教育WG委員，デジタル化タスクフォース委員，文部科学省の教育データの利活用に関する有識者会議座長代理，学校健康診断情報のPHRへの活用に関する検討会座長，インターネットを活用した大学院遠隔教育を実現。校務DX，教育情報セキュリティ，1人1台タブレット・電子黒板・協働学習ツール等活用，生成AIの教育利用，プログラミング教育，遠隔教育，情報モラル教育，デジタルシチズンシップ教育等，教育の情報化と情報教育に関する総務省，文部科学省，経済産業省，デジタル庁，NHK等の座長・委員長・委員を務める。	
地域情報化の専門分野・技術	教育の情報化，情報教育全般 ＜教育ICT環境の整備・ICTを活用した授業改善＞ タブレット，電子黒板，ソフトの整備，ICTを活用した授業改善 ＜校務の情報化，教育情報セキュリティ＞ 校務DXの推進，教育データ・生成AIの活用，教育情報セキュリティの確保 ＜情報教育＞ 情報リテラシー・ICTリテラシーの育成，情報モラル教育，生成AIの活用	
専門分野	教育情報化／情報教育 生成AI活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等）	
自治体向けメッセージ	これまで都道府県・政令指定都市から，地方都市，町村まで，全国多くの自治体で助言した経験と，国の座長・委員長・主査・委員を務め最新の情勢を把握していることを生かし，教育の情報化と情報教育全般について助言します。お困りのこと，今後の整備，教育DX，1人1台タブレット端末を活用した授業改善などについて相談したいことがあれば遠慮なくご活用ください。	
関連サイト	http://www.naruto-u.ac.jp/facultystaff/fujimura/	

地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<教育クラウドの開発研究> ・教育クラウド草創期から要件を研究し，国際学会でも発表 <校務の情報化> ・文部科学省で教育DXを進め，秋田県の次世代校務DXの委員長を務める。 ・ガバメントクラウドの「就学援助システム」標準化の座長を務める。 ・APPLIC「教育ワーキンググループ」主査として，統合型校務支援システムの全国標準仕様「教育情報アプリケーションユニット標準仕様」を策定し，総務省・文部科学省と連携して，全国に普及させた。 ・総理大臣の指示で，座長を務め，日本全体で自治体を超えた転校・進級・進学を電子的に可能とする共通認証基盤と真正性の担保の在り方を明らかにした。 ・「教育クラウド」について2015年のロンドンの国際学会で世界で初めて提言し，総務省・文部科学省・デジタル庁と連携し，その後実現を支援した。 ・教育データ標準として，One Roster Japan ProfileをOne Edtech Japanの部会長として開発し，国指定の日本標準仕様とするだけでなく，国際標準仕様とした。 <教育情報セキュリティ> ・文部科学省で「スマートスクール構想検討ワーキンググループ主査」を務め，文部科学省の「教育情報セキュリティに関するガイドライン」の策定に当たり，現在も上記ガイドラインの改定作業を行っている。 <教育におけるICTの活用> ・首相官邸でGIGAスクール構想の検討を進めて実現し，第2期GIGAスクールも文部科学大臣に提言し実現した。タブレット等のICTの活用について，成功事例・失敗事例を分析して，効果的にICTを活用した授業改善方策を明らかにし，学力日本一の秋田県の教育をアドバイザーとして支援している。 ・世界初の8Kスーパーハイビジョン教育利用をNHKと研究 ・草津市，大阪市等で小学校におけるプログラミング教育を研究 ・最新の情報モラル教育に関する研究成果を生かし，デジタルシチズンシップ教育・情報モラル教育の在り方を明らかにし，各種教材を開発した。 ・文部科学省で「教育データの利活用に関する有識者会議」座長代理を務め，ゼロトラストでの教育情報セキュリティを提案した。
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	<都道府県，市町村における教育ICT環境の整備> ・生成AIの教育利用（北海道岩見沢市，滋賀県） ・超高速教育イントラネットの整備助言（愛媛県） ・文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」策定者として，ネットワーク統合，高度なアクセス制御によるセキュリティ（ゼロトラストセキュリティ），次世代校務DXの在り方を明らかにした。（秋田県・新潟県） ・統合型校務支援システムの整備と活用促進（札幌市，大阪市，神戸市，北海道香川県，徳島県，愛媛県，高知県，兵庫県等） ・タブレットPC・電子黒板等の整備と活用（秋田県八峰町，新潟県関川村，川崎市，倉敷市，島根県美郷町，島根県飯南町，愛媛県西条市，鹿児島県与論町，沖縄県宮古島市等） ・教育の情報化推進計画の策定（函館市，青梅市，松江市，大阪市，徳島県等） <情報教育の推進（プログラミング教育，情報モラル教育を含む> ・北海道，秋田県，長野県，徳島県，高知県，島根県，宮崎県，鹿児島県，札幌市，渋谷区，長野市，大阪市，名古屋市，滋賀県草津市，那覇市を助言